

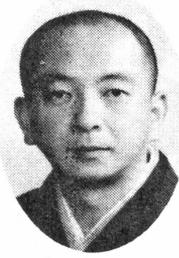


第 33 号

発行所  
全国曹洞宗青年会  
〒105 東京都港区芝  
2-5-2 曹洞宗宗務庁内  
編集発行 全国曹洞宗青年会  
TEL. 03-454-5411(代)

# 十周年を迎え更に飛躍を

## 全曹青会長 桜井孝順



例年になく長かった冬の帳から醒め、野山にも陽春の訪ずれが感じられる好き日になってまいりました。

全国曹洞宗青年会会員各位におかれましては、愈々御健勝にて、教化活動に御専念のことと存じます。重ねて各地青年会活動に御理解御支援を賜わっております御尊宿方々に、厚く御礼申し上げます。

昨年五月、全曹青第五期会長に就任以来、微力ではありますが、「厳しい自覚で教化の実践を」をスローガンに、過去の実績をふま

え、教化宗団の青年宗侶として、青春のエネルギーの結集と自覚を求めた連携をさらに深め、現代社会、そして家庭のニーズに応えるべき活動を展開してまいりました。現代の社会風潮のあらわれは、青少年の非行の激増をはじめとする教育の荒廃がさげはれております。日本と同様、第二次世界大戦の敗戦国である西ドイツも共に、国家再建に経済復興に力をそがれ、今や世界経済のトップリーダーの座にあります。家庭生活を中心とした、民族の精神面においては、かなりのへだたりが出来てしまったといわれております。

家庭・家族を大切にしている西ドイツとは異なり、日本においては経済至上主義で家庭も子供も犠牲の上に今の繁栄があるとしたか

えられない。豊かな経済生活の為の代償が、「一人っ子」・「核家族」・「0才児保育」等々となり、「使い捨て」・「激増する離婚」・「高令化社会への不安」が山積みされてしまっている。物や心を大切にすること、人間生活の本来の価値感を見失っているのではないのでしょうか。21世紀を眼前にした今、私達宗教者として何を考え、行動していかねばならないのであります。か。大自然への憧憬、万物の霊長である人間への慈しみの必要性を痛感し、よりヒューマニティーに富んだ宗教者としての自覚が大切であります。

少年非行、校内暴力に代表されるように、青少年の教育問題がクローズアップされている現在、私達は宗教者として、教育問題に真

剣に取り組まなければならない。今の子供達は「知識はあっても智慧がない、体力はあっても耐久力がない」などといわれるように、受験・詰め込み教育の弊害が指摘され、情操・道徳教育の必要性が見直されております。

「教育の原点は家庭にあり」と言われますが、実態はテレビ・新聞雑誌等あらゆるマスコミがドキュメントとして報道されている恐るべき姿ではないでしょうか。NHKが特集としてとりあげた「子供の食卓」は、私達にもショックキ



ンな放映でありました。高度成長による物の豊かさの中で、心の豊年をむかえることになりました。創立総会が交通ゼネストというアクシデントにめげず、全国各地青年宗侶が東京に結集した情熱の灯も、法の御加護を賜わり、牛歩の如き歩みではありましたが、各地青年会と手をたずさえて着実に飛躍の継走がなされてまいりました。今こそ青年の時代と大衆教化宗団の旗手にならんとした創始の精神をふまえて、青年宗侶の果敢な情熱が禅のつどい運動・仏教セミナー・地方集會等を開催する中で、大衆教化の接点を求めて「のスローガンを模索し、全国に浸透させてきたものだと思います。十年たった今、組織の継続を考

# 禅のつどい 運動の展開



## 第六回 禅文化学林 盛会裡におわる

### 雪深い永平寺で

### 仏教文化をシルクロードに見る

今年で第六回目を迎える禅文化学林は、残雪深い大本山永平寺を会場として、去る三月三・四日の両日開催された。

今回の特色は、日本画壇の最高峰である東京芸術大学の平山郁夫

先生にお願いし、仏教美術の流れを先生自らのスライドによって講義なされたことである。  
聴講生を含め二百余の参加者は深い感銘のうちに祖山をあとにした。

### 昭和五十八年度後期

### 禅のつどい中央研修会

#### — 全国三会場で開催 —

五十八年度、縁蔭禅のつどいも全国各地において、盛会裡のうちに幕を閉じました。それを受け、全曹青では、後期禅のつどい中央研修会を催し、初めての試みとして、会場を全国三会場（東北地方（福島）・関東地方（神奈川）・近畿地方（京都））に分け、多数の青年宗侶のご参加をおおぎました。

各会場では、事例発表、テーマ「食」に関する講師の講演をいただき、地域での曹青活動の若々しい息吹きを同時に感じさせていただきました。

又、禅のつどいのアフターケアとしての「禅文化学林」は、大本山永平寺様を会場とし、日本画壇第一人者であられる平山郁夫先生がシルクロードを通した「仏教美術」の流れを、先生ご自身が、現地に赴かれ、実写された貴重なスライドフィルムをもとに、二日間に亘って講義なされたのを、楽しんで拝聴でき、更に、雪深い祖山で「禅林生活も体験出来、多くの一般参加者は、感銘深い日を送られたもようです。これも一重に参加された曹青会員各位のご尽力の賜

ものと感謝申し上げます。次第です。  
テーマの日常継続

さて、各地で行なわれた禅のつどいの報告書のみならず、規模の大小、テーマ、行なわれている内容等の中に、それぞれの会場の歴史や考え方が表われていますが、その中で検討を要すると思われる問題点は、子ども達をいかに楽しませるかという苦心の跡が見受けられるものの、夏休みの地域における日曜学校のなつどいであったり、青年会の長い歴史の中で年中行事のお祭り化したつどいが、いかに多くみられるかということでもあります。それら、マンネリともいふべき原因は、集まってくる人々に、何を訴えるか、どう信仰心を持たせるか、ひいては、行なわれる所の「テーマ」がしぼりきれいな所が、問題点ではなからうかと思われまます。  
又、テーマ自身についていえば、社会性を持ち且つ人間の存在の根底を明らかにし、共に家庭にもち帰って実践出来るものであるかどうかということもかわわつてくると思われます。更に、つどい運動が、青年会という組織の上で行なわれているとすれば、その会場その会場のみという単発に終わることなく、そのテーマを各寺院にもち帰り、我々自身の生活を省み、



さっそく欠席の届けが出る。雪国秋田は全員欠席、地元福島からも欠席者が続々と出る。

そんな不安な主催者の心を喜ばせる如く、静岡から会長が、神奈川・茨城などの関東から、また雪国の青森・新潟からも会員が結集し、最終には七十名に及んだ。

正に雪中の研修会となり、参加者には忘れられない思い出となったことであろう。

二日間のメインテーマは「食を見直す」と題し、無着成恭先生、中野東禅老師の講演の他、「禅の集いにおける食の内容と作法について」

「現代社会の食を見直すの布教について」

「禅のつどいのマンネリを打破するには」の三つのテーマについて、分科会をもち討論した。

### 無着・中野両

#### 講師を迎えて

メイン講師の中野老師は、「食は人間存在の根底を明し、人間を解脱させる実践である」として、飽食の現代社会の公害、生命の危機、家庭の破壊といった現象を、食を通して説かれた。また禅のつどい等における食事の在り方も、多くの実例をあげ、わかり易く解説された。

無着成恭先生も、現代社会の諸問題は、政府が農業国から工業国へ転換された事に最大の原因があり、農作物を自給できない日本国の将来性は暗く、今こそ食の在り方を見直し、青年宗侶が食を通して仏法を宣揚すべきと力説、大きな感動と共感を与えた。

全曹青主催の研修会が地方に分散して開催することは、地方会員が受講し易い場を設定することと併せて普及疎縁になつている全曹青役員その他、全国の会員と顔を合わせる機会がもてることに大きな意義があると思う。

研修会後の講師老師を囲んでの懇親会はまことに和やかであり、素晴らしい雰囲気をもし出した。

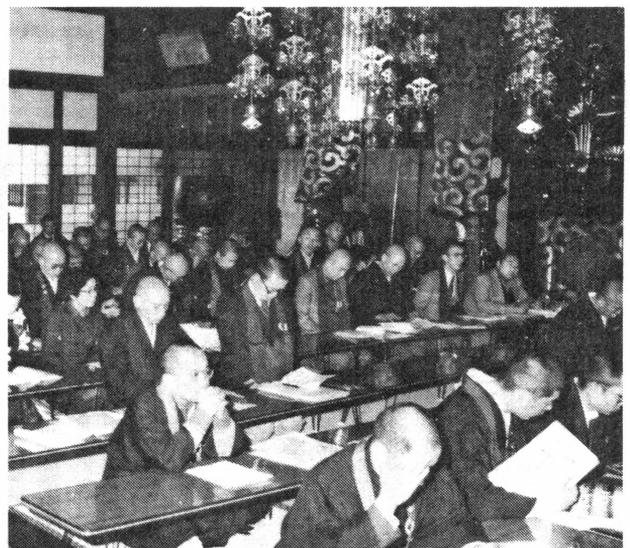
地方曹青のワクをはずし、青年宗侶は一つ〃の団結心を明確にした懇親会も大いに評価できるであろう。青年会の輪を広げるためには、親睦の在り方も考慮すべきではなからうかと考えさせられた。

最後に地元宗務所より金平主事、東北管区教化センターより大竹統監老師のご臨席をいただき、全曹青初代会長門脇師、東北曹青元会長大野師、芦原師等他数のご来賓の方々の励ましをいただいたことに感謝申し上げ、東日本会場の報告といたします。  
(全曹青理事、福島県曹青会長 吉岡棟憲 記)

## 西日本会場 報告 (京都)

西日本会場として教場に設定した京都宗仙寺には、近畿・東海・中国などから延べ三百名を超える参加者と、多数の報道関係者が参集し、異常な程の活気を呈し大成功の中に無事円成した。

二月九日・十日の二日間の研修テーマは「これでもいいのか、あなたの食卓」と題し、タレントの兵藤ユキさん、料理研究家の辻嘉一先生をメイン講師に招き、現代社会の食を通しての布教の在り方と我々宗門人の会に対する認識を深めるための研修内容が展開された。もつとも身近な問題である「食」について、今後各地で行なわれる禅のつどいの中でどのように取り入れられていくのだろうか。大衆教化の接点を求めて、具体的に身近な問題を取り上げたこの研修会の意義が、更に多くの宗侶や大衆の中に広がって行き、全国的な意識高揚につながるならば、今研修会の設定が活かされたことになり



熱心に耳をかたむける西日本会場の参加者

喜ばしい限りであります。

研修会を通して自分なりに考えさせられた「これでもいいのか、あなたの食卓」の所感を述べ、西日本会場の報告とさせていただきます。

ある料理屋の付出しの中に、火のついた煙草をつき差していった若い坊さんがいる。

「くそ坊主が」と言っ、その器を洗っていた板前さんが、ちらつと私を見ながら「この頃の坊主は偉いと言われとつても、首つり自殺するくらいだから大したことないの」と言う。

宴会では、料理の器を灰皿代り

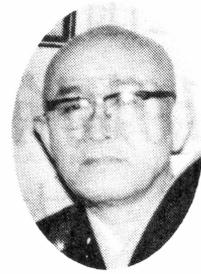
### 生かすこと

曹洞禅が最底の生活と謂も最高の生き方を説いているならば、最高の生き方とは最大限生かすことであり、生かすことが典座心得の要であり、仏法である。

に使う坊さんもいる。それを見るに、食事の尊さをお説きになった道元禅は一体どこへ行ったのか。

信心は文化の最たるもの、宗侶や在家の方々にも信心はなくなつたのだろうか。形式的な食事作法を云々する事より、尊さの理解と実践が作法として出てこなければならぬ。

出版部長  
太田 薫 一



# 仏法の総府

菩提樹下に於て坐禪修行せられた釈尊は十二月八日の朝まだき成道せられ「我と大地有情と同時成道」とおせられ仏陀となられたのであります。

爾後四十九年の説法により、その御心は多くの仏説經典となつて伝来されて参りました。わが宗は釈尊の御心が拈華瞬目、破顔微笑により迦葉尊者へ付属され二十八代達摩大師へと嫡々相承されました。各宗の祖師方は所依の經典を示して、それによつて宗旨を説かれていますが、その經典の原点母胎は即ち坐禪であります。釈尊の只管打坐なくして多くの經典は有り得ないので、この仏教の母胎である坐禪の教えを承け嗣いで参つた、わが宗こそ仏法の総府と言ふべきであります。

雪に埋れた少林寺に面壁九年の達摩大師を訪ねた恵可大師が左の臂を断ち放し求法の固い決意を示された恵可断臂の勝蹟に思いを馳せる次第であります。

高祖大師が貞応年間の春、博多の港から、万里の波濤を乗り越え如浄禪師に就いて弁道精進せられ、天童山に月冴えて、只管打坐の教えは、わが国に光を放ち、太祖大師により更に弘め

られました。

わが永井内局に於ては、仏法の総府たる正伝の仏法は只管打坐を中心とする布教方針を定め、家庭仏法の具現に力を注いでおります。

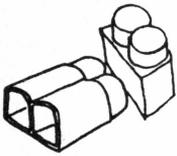
私達は幸いにして両祖の児孫としての勝縁に悦び、その慈訓を体し不惜身命の精神で精進道すべきであります。

本年、青年会におきましては創立十周年を迎えられ、色々な記念事業を計画されているようであるが、創立当初より「大衆教化の接点を求めて」の一環としたテーマで活動を行つて来ました。諸師はその主旨を体して自己を修めつつ、大衆教化活動に邁進して来ている事を目のあたりにし、青年宗侶に大いに期待を寄せるものであります。

十周年をトとして、全曹青が今一段の飛躍されん事を冀い、青年会員諸賢が仏法総府の宗旨としての自覚を持ち、益々道念堅固で御活躍されるよう念願致します。

十周年をトとして、全曹青が今一段の飛躍されん事を冀い、青年会員諸賢が仏法総府の宗旨としての自覚を持ち、益々道念堅固で御活躍されるよう念願致します。

十周年をトとして、全曹青が今一段の飛躍されん事を冀い、青年会員諸賢が仏法総府の宗旨としての自覚を持ち、益々道念堅固で御活躍されるよう念願致します。



現象としての食事に禪の教え、生かすこと」があり、和合・信心・智慧・楽しみ・創造性をもつ食事という行為こそ、現代社会に生きる我々の身近に残された最後の文化の砦ではないか、その砦が崩壊しかけています。

高価な書や絵画も芸術と言われる文化であるが、生活から遠く遊離してしまつたものは、文化としての生命は薄い。芸術的に低次元と言われても、生活と共に脈打つ教えや行為は文化として生きています。大衆教化に高度な哲学は不要である。身近な生活の中にこそ大きな展望があり、文化がある。

その文化を芽生えさせ、育てる仏法はあつても、教化者と信心に

## 関東会場報告(神奈川)

関東会場は「母と子のちかひのつどい」のサブタイトルの通り、子どもを主体とした研修会であつた。三歳から小学校六年までという広範囲な参加者は、従来の研修会とは違つて、昔し話やレクリエーションをとり入れた日程の中で楽しい二日間となつたようだ。

沼田曜一先生は、民話の中で広島島の「おこり地蔵」の話をされ、目から血の涙を流して怒る石のお

支えられた基盤がないように思う。私達自身がマスコミに流され、毒されている現況で、混迷する社会に何が必要なのかを見極めなければならぬ。高度経済成長に依つて潤つた寺院経済にも曲り角が来ている。

「あの世の使者、高額集金人」と批難されないうちに、いつまでも寺を愛してくれる大衆の心の育成と寺院の生活習慣確立に今取り組まねば、火がついてからでは遅い。自ら墓穴を掘ることになるであろう。

全曹青副会長 京都会場代表 大谷 俊定 記

地蔵さんの話に子ども達は感動したようであつた。また、無着成恭先生はあの独特な語り方で子ども達に釈尊の教えをわかりやすく教えてくれた。

三月二十九、三十日の開催という事業年度末の開催ではあつたが会場の大雄山最乗寺の全面的な協力もあつて意義ある研修会となつた。

# 全国曹洞宗青年会結成 10周年記念事業の展開

## ～大衆教化の接点を求めて～

### 微笑仏展

この愛らしき野の仏たち

曹青も「全国曹洞宗青年会」として結成以来、はや十年を迎えるに到りました。

この十年間「大衆教化の接点を求めて」とメインテーマを定め、青年僧ならではの活動を多様な実績をつみ重ねつつ進めてまいりました。

特に今回、そのテーマをより広く深く掘り下げ、より大衆的な接点の拡大を願い、かつ全国的な曹青活動を推進して頂く企画展として「微笑仏展」を中心に、洋上セミナー、講演録発刊、禅文化学林を事業の一端に取り入れ企画を進めております。まずメイン事業である「微笑仏

展」は東京新宿の小田急デパートという大都市文化を象徴する場所に仏様、特に野の石尊仏にお出ましを頂き都会の人々が求めてやまぬ心のうらおいを得ていただき仏さまの心を伝えんとするものです。東京砂漠といわれて久しい現在の街に、そつと野にたたずむ仏さまの微笑が和顔施の真髄として、そこに大きなオアシスを出現させ得るものと疑いません。

また今回、幸いにも読売新聞社の絶大な支援を頂ける運びとなりました。

それにつけても、曹青の活動とは、何度も確認してまいったように、中央機関が下知をとばして

(交渉中)  
企画協力 (株)小田急デパート  
(趣意書)

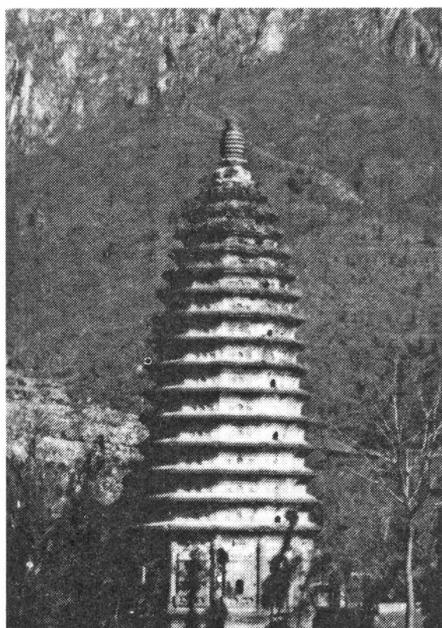
毎日のようにマスコミをにぎわせる悲しいニュースは、日本人の生活から笑いを、やさしい微笑をうばっています。やさしい微笑を忘れたから悲惨な事件が相次ぐとも言えましょう。

このような世相の中で、特に心が乾いてしまいつつある都会の入々へ、真の微笑を、慈悲に満ちた永遠の微笑を見ることができたらば……。それは仏さまの微笑しかありません。仏さまと申しましても様々です。どんな仏さまが、この企画にふさわしいか……

ご寺院におまつりされているご本尊や、その他多くの仏さまがおいでになります。とりわけ、ごく一般に親しみ深いのは、よく道端でお会いするお地藏さまや、山路を歩いて出会う石の仏さま達であり、あの風雨にさらされながらも深い微笑をたたえておられる姿こそ、多くの人々が一番親しみやすく、感銘を深くするのはないでしょうか。

中には五百羅漢のように、ユーモラスなお顔の中で慈悲をなげかけて下さる仏さまもあります。

この企画は、誠に恐れ多いことではあります。大都市のデパート等、大衆の集る場所に仏さまにお



地方々都市の接点を求めて  
大きなうねりを作り出そう  
主催 全国曹洞宗青年会  
企画 十周年記念特別事業委員会  
協賛 大本山永平寺  
大本山総持寺  
曹洞宗宗務庁  
後援 (株)読売新聞社  
日本テレビ放送網(株)

出まし頂いて、和顔施を忘れかけている多くの人々に、真の微笑を、慈愛に満ちた深い微笑を教えて頂き、かつ、仏さまの心を伝えて頂くこととの願いを持って立案されたのです。

会場では、若い男女が、両親と手を取りあつた子ども達が、仏さまのお顔をながめ、やさしい笑いの中に、仏さまの心をほのぼのと受けとめていく情景が、あちこちで見られることでしょう。

〔企画主旨〕

全国曹洞宗青年会結成十周年の記念事業にふさわしい催事にするために次のことを念頭におき立案いたしました。

- 一、入場対象に限定がないこと。
- 一、幼児から老人まで入場できること。
- 一、楽しく、わかりやすいこと。
- 一、日本人の情感にフィットすること。
- 一、近年の世相に照らして、時を得ていること。
- 一、展示物を収集するにあたって、依頼先・交渉先が多いこと。

洋上子供セミナー

◎洋上子供セミナー

日時 昭和59年8月22日  
8月25日

講師 無着成恭先生

木原光知子先生(交渉中)

指導員 青年会々員

一、老若男女に、仏さまの心を、やさしく・やさしく伝えられること。これらをもとに企画立案されたのが、「微笑仏」…この愛らしき野の仏たち：展です。

〔期間 会場〕

昭和五十九年十月十二日から昭和五十九年十月二十四日まで

新宿 小田急デパート(本館) 十一階小田急ランドギヤラリー

〔告知・PR〕

- ①読売新聞社の記事による広報
- ②後援テレビ会社のパブリシティ
- ③会場都市寺院へのポスター等掲示
- ④宗門関係者への案内
- ⑤石仏協会・石仏本の会・東京ハイキングの会など愛好会への案内

〔入場料〕

大人 六〇〇円 小人 三〇〇円

〔予想入場者数〕

二週間 組織動員数 三万人  
一般 二万人

使用船 大型フェリー飛龍一号

目的地 おきなわ  
募集人員 二〇〇名

※詳細についてはパンフレットを参照されたい。

〔催事の内容〕

- でき得る限り、全国的に知られている地域から石仏をお借りして展示する。
- 全体構成の要として羅漢と釈迦如来を展示する。
- 微笑をたたえた石仏を全国よりお借りし、当展覧会の中心として展示する。
- 数種類のお地藏さま「子育て地藏」「延命地藏」「縁結び地藏」などのコーナーを設定して、入場者が供養できるようにする。
- 石仏の源流を探ることは、仏様の歴史を訪ねることであり、これらをわかりやすく解説展示する。
- 展示仏の写真解説図録を作成し、販売する。
- 期間中、「石仏の心」「微笑仏と私」などの講演会、又は対談などのイベントを行い、後日、出版物にまとめる。

〔会場構成〕

①メインスペース

- どこかで見た顔・五百羅漢
- どこかで会った・微笑の石仏さま

○み守って下さる・お釈迦さま

②全国石仏紀行

- 石の仏さまに会いに行こう
- 仏さまについての知りになろう
- 仏さまの履歴書
- 仏さまの体・手・足

○仏さまのお役目  
①お願いしますお地藏さま  
○子育て地藏コーナー  
○水子地藏コーナー

②各種販売コーナー  
○図録・ミニチュア商品・絵馬  
・出版物・お守りetc

講演録発刊

◎講演録発刊  
十周年を迎え、中央研修、地方集会(大会)等における、著名講師陣の講演集の大成。  
装丁 B6版約二三〇頁  
発行部数 三〇〇〇冊  
頒価検討中

禅文化学林

◎第七回禅文化学林

天童寺拝登と桂林の旅  
日時 昭和60年2月11日より  
17日まで

同行講師

平山郁夫先生(予定)

募集人員 七十名

※詳細につきましては追って、各会員宛、パンフレットを送付致します。

—ご寺院の豊かな明日をクリエイトする—

私達の仕事は 寺院運営企画・建築・設計・営繕工事  
境内・墓地清掃保守管理施工  
寺院用品/焼却炉など環境用品販売

●あらゆる相談をお待ちしております!  
見積無料 ☎(364)0671~3  
法律・会計相談も行っております。

—日本寺院株式会社—

〒160 東京都新宿区百人町1-13-2

# 中国大会(鳥取)

## 中・四国を一巡した大会をふりかえって

雪の大山を仰ぎ、街角に新雪のある山陰の接点、米子市を会場に、二月廿四、廿五の両日「第六回中国曹青鳥取大会」が開催された。今大会は鳥取県内三曹青が大同団結し、鳥取県曹洞宗青年会会長山根宗範師を実行委員長として会場を引受け、主管となり、スローガンを「自覚からの行動」をかかげ教化者の原点を求めようとした。その具体的行動として新築された総泉寺さま坐禅堂の開単記念として中国曹青に提供下さった御法愛をありがたく思う次第であります。



またこの大会参加者八十余名の接心指導の為に遠路はるばる御来講いただいた大本山総持寺後堂老師の検単及び御提唱は参加者一同の胆に銘ずるものがありました。開単記念接心に引続いて、ひろさちや先生の「般若心経のはなし」は我々が宗侶の立場として見る物の見方とはちがった「物の見方考え方」を示され、非常に有意義であり、再びお迎えすることを約束した次第であります。

開会が、開単記念接心、提唱、講演と第一日目の主行事を終え、一同バスにて山陰の湯の街、皆生温泉ホテル生駒に会場を移し、懇親と座談の豪華な一時をすごしました。その席で全曹青会長桜井孝順師の全曹青の方針と活動が紹介されました。その席で全曹青への団体加入を申し出る青年会もあり、また新たに青年会を結成したばかりの島根第二宗務所管内の「出雲曹青」の前向き参入が計画されました。(大会後出雲曹青、会員六十余名が中国曹青に加入を表明された)

再び後堂老師の法話をいただきました。特に老師が本山においてのみならず御自坊においても、寸分をおこたることなく行持綿密な道心をつらぬいておられる姿がありたいものであった。体験からにじみ出る求道心は我々の心をうつものであった。

引続いて地元鳥取女子短大の山田修平先生の御講演をいただきました。特に現代社会における老齢化問題とその動向について語られ寺院経営、老人と寺とのかわり合いのあり方について精神面と身体

経済等の分野から語られた。今後寺院がつき当るであろう問題とし実得的を得た非常に参考となるものであった。

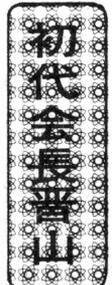
目下山陰水害地への図書寄贈運動を展開中であり今後、広域活動を連携のもとに進めていきたい。次回は今日までの研鑽をもとに広島県内において新企画のもとに青年大会を開催したい。

新潟県曹洞宗青年会主催による「禅展」永平寺、総持寺、大乗寺の秘宝展を一堂に展示する禅の秘宝展をメインに、昭和五十九年六月九日より十七日まで新



## 日本における 禅の源流を訪ねて

◎大坐禅会  
会場 新潟市北部コミュニティセンター  
期日 六月六日午後六時より  
会費 金一〇〇〇円  
◎曹洞宗名僧墨蹟展並即売会  
会場 新潟市瑞光寺  
期日 六月十五日～十七日 (入場無料)  
◎禅寺の料理  
会場 新潟市瑞光寺  
期日 六月十五日～十七日  
食事券 金五〇〇〇円  
右の様々種々の催しが開催されます。詳細につきましては左記にお問い合わせ下さい。  
事務局 新潟県中蒲原郡横越村 円通寺  
TEL(〇五五)一三三(〇)  
連絡所 新潟市西堀通り七 宗現寺  
TEL(〇五三)二二七六(×)



本会初代会長の門脇元元師は、去る四月十五日めでたく晋山式をあげられ、仙台市・林香院の第二十三代住職に就任された。好天に恵まれた晋山式には全国から百名余の随喜寺院が参集、本会からも桜井会長をはじめ多数の会員が慶賀のため随喜した。

全曹青推薦！

OPEN YOUR MIND  
禪  
SOTO ZEN

# 紹介コーナー

教化伝道については、会員各位には、日夜弃道精励のことと思えます。此度本部事務局では、伝道教化に役立つ耳よりの物品について、会員各位にご紹介をいたします。是非ご利用下さいませようおすすめていたします。

禪マーク入り若者のための  
**Tシャツ**  
〈全曹青製作〉

正価 一、六〇〇円  
青年会価格 一、〇〇〇円  
東京都府中市浅間町四丁目三番地W五  
〒183 〇四二三(六九)二四三二  
株式会社 サヤック

お焚上げのできる  
**水子地蔵**

正価 五、〇〇〇円  
青年会価格 四、〇〇〇円  
千葉県松戸市古ヶ崎三―三三  
五九―一二  
〇四七三(六七)七三〇七  
法友 全曹青係

これは便利、持ち運べる  
**無線電話**  
品質保証

無線電話は好評の内に完販致しました。ありがとうございました。

リコー(普及機)  
**拡大縮少コピー**  
FTⅡ三〇五〇

正価 六二八、〇〇〇円  
青年会価格 五一五、〇〇〇円  
注文先 本会事務局

リコー(高級機)  
**拡大縮少コピー**  
FTⅡ四〇六〇

正価 七九八、〇〇〇円  
青年会価格 六五四、〇〇〇円  
注文先 本会事務局

五十音ペンタッチ 三二〇S  
**ワードプロセサー**

正価 一、〇六八、〇〇〇円  
青年会価格 九〇〇、〇〇〇円  
注文先 本会事務局

カナ、漢字キー 三一〇D  
**ワードプロセサー**

正価 一、二五〇、〇〇〇円  
青年会価格 一、〇六〇、〇〇〇円  
注文先 本会事務局

東北曹青推薦  
**塔婆立(木目仕立)**

青年会価格 二〇、〇〇〇円  
秋田県平鹿郡平鹿町字鍋着  
永蔵寺内  
〒013-01 〇一八二二(四)三〇三八  
東北曹青塔婆立特販委員会

本牛革全面使用(黒)  
**法服用カバン**

青年会価格 四八、〇〇〇円  
東京都豊島区西池袋三一―二五  
階 〇三(九八三)〇八九一  
オーシャン物産全曹青係

東北曹青推薦の  
**坐蒲**

坐蒲は販売所変更の為に取り扱い行務を中止します。住所変更までしばらくおまち下さい。

除雪、除草用バーナー  
女性にも容易につかえる  
**スーパーフレーム**

正価 二五、〇〇〇円  
青年会価格 二〇、〇〇〇円  
注文先 法友全曹青係(前記)

原付免許で乗れ、月まいりに  
便利な、リッター四五キロ  
**省エネカー**

正価 四七〇、〇〇〇円  
青年会価格 四四五、〇〇〇円  
東京都新宿区四谷三丁目一番  
斉藤ビル四階  
〇三(三五五)二三八一  
サン貿易 全曹青係

**写経と法話**

正価 三、九〇〇円(送料共)  
三、五〇〇円に  
東京都千代田区西神田二―二一八  
谷口ビル 〇三(三九三)三七五〇  
株式会社出版開発社全曹青係

## 折疊焼香台

**2台で1セット**

- 使用時、高さ75cm×開口60cm×奥行40cm
- 収納時、高さ85cm幅60cm×厚さ8cm

● 1台のみの場合は半額 ● 色は、黒色  
溜色・朱色

■ 申し込み資料請求はハガキにてどうぞ。

〈御用途〉

- 屋外供養
- 前卓など
- 本堂焼香
- 説教機
- 墓前供養



**株式会社 サヤック インターナショナル・ジャパン**  
〒183 東京都府中市浅間町4-3 電話0423(69)2431

# 事務局だより

## ◎昭和五十九年度総会と前期禅のついで中央研修会を開催

五月十日に宗務庁研修道場に於て、前期禅のついで中央研修会が開催される。内容は次の通りである。座談会・「食について」講演・「政治とマスコミ」

駒大助教・福岡政行先生  
琵琶演奏 上原まり先生

五月十一日には、評議員会、総会が開催される。多数のご参加を願うものである。

## ◎全曹青十周年特別記念事業

結成十周年を迎える本会は、記念事業を次の通り計画している。

### ▼洋上セミナー

八月二十二日から二十五日までの三泊四日、大阪南港より新型フェリーで沖繩へ向う。

### ▼微笑仏展(石仏)

十月十二日より二週間、新宿の小田急デパートで、この愛らしき野の仏たち」と題して石仏展が開催される。

### ▼記念出版

各地方集會にて講演された著名人の講演内容を収録、只今作成中。いずれもくわしくは本紙を参照して下さい。

### ◎第七回禅文化学林

昭和六十年二月十一日から十七

日の六泊七日間、中国、天童寺拝登と桂林の旅を計画している。

### ◎「曹青通信」

広報委員会では会員の投稿を期待しております。地方の活動、シビアな又ユニークな意見と情報をお願いします。ボイス・オブ・ローカルは、全員の広場です。

### 事務局日誌

1月17・18日 事務局

特別事業委員会  
研修委員会

1月22・23日 後期禅のついで中央研修会・福島大会(於・警梯グラ

ントホテル)

## 入会のご案内と会費納入のお願い

宗侶としての生甲斐を確かめ、心から話し合える場に参加しませんか。18才以上の宗侶は、誰れでも入会できます。40才までの方は、正会員。40才以上の方は賛助会員として参加していただきます。

会費は年額 一、〇〇〇円  
賛助会員は一口 一、〇〇〇円です。

本年度も総会を開催し、会員各位のご協力により、事業計画にそってスタートいたしました。

前年度まで一三〇〇余名の会員

2月9・10日 後期禅のついで中央研修会・京都大会(於・宗仙寺)

2月10日 評議員会(於・宗仙寺)

2月24日25日 第六回中国(鳥取)大会(於・米子市・総泉寺)

3月3・4日 第六回禅文化学林(於・永平寺)

3月29日30日 後期禅のついで中央研修会・神奈川大会(於・最乗寺)

3月26日 事務局  
特別事業委員会

4月16・17日 事務局  
特別事業委員会

4月16・17日 事務局  
特別事業委員会  
事業委員会

が登録されておりますが、会費未納の方が多数あります。どうか全曹青発展のため会費納入をお願いします。尚、地区単位曹青にまとめて納入のときは、納入会員名を書き添えてお願いします。

又、事務局台帳の充実を期するため、振替用紙裏面か、ハキキ等にて生年月日、住所、寺名、地区曹青役職等なるべくくわしく書き添えて、事務局宛にお送り下さい。

## 破草鞋

早春の大和路を歩いた。西大寺から、秋篠寺への畦道を吹く風は冷たく、木々の芽は固かった。秋篠寺の境内は、静寂そのものだった。京都の雅やかな世界とは、かけはなれた風情が、そこには在った。雑木林に囲まれているために、病葉が路地にも見られた。それがむしろ自然な印象を与えてくれた。私はあの寺に伎芸天像を御拝りに行ったのだった。像は暗い金堂の左端にひっそりと立っておられた。仄ゆらく灯明、微かな香のにおい、和らかな電灯に浮かぶ像は、艶麗そのものだった。頭部は天平時代、胴体は鎌倉時代の作だというが、見事な調和といえよう。

ちよつと腰をひねった優美な立姿、あだつばい表情には、一面憂愁がこめられていた。角度により様々な顔の表情を呈し、右から見上げると微笑があるいは睨目するようにも見られた。とりわけ涼しい目もとが私をひきつけて離さなかつた。丸味を帯び、通つた鼻筋、少し開いた口元はこちらに何かを語りかけているかに思われた。参拝者は私一人。像と対峙し尊顔を拝した時、何故か目頭が熱くなつた。閑寂な古刹での幸福で感動した一刻であつた。(M記)

## 寺院専門の書道用具店

その他中国美術工芸品



◎当店には塔婆専用に開発した非常に木に強い毛切れのしない筆があります。

静岡市新川2-9-31 TEL.0542-81-8005